

東京 2020 大会開催時における都庁発注工事の調整に関する 取組方針（2019.10 版）の策定について

都は、円滑な大会輸送と、都市活動との両立を図るため、主に関係者輸送ルートや会場周辺などにおいて都庁発注工事の調整を実施することとし、本年4月、都庁発注工事の調整に関する取組方針を公表しております。この度、今夏の試行結果や会場周辺交通対策のとりまとめ等を踏まえ、10月18日に更新し、公表いたしました。

1 目的

- ・路上工事によるボトルネック化回避
- ・工事から発生する車両数の削減

2 基本的な考え方

- ・その年に必要な工事を着実に実施することを前提
- ・平準化に努め、発注時期を適切に調整
- ・工事調整に係る経費・工期は適切に積算 等

3 工事調整の手法

- (A) 工事発注時期の調整 (B) 工事の一時休止 (C) 工事車両の出入り調整
(D) 工事を夜間に実施・振替 (E) 混雑回避

4 対象期間

- (1) 日中の路上工事を避け、車両数を削減 計 35 日間
2020 年 7 月 20 日～8 月 10 日、8 月 25 日～9 月 6 日
- (2) 路上工事以外の施設工事等で車両数を削減 計 25 日間
上記期間のうち土日を除く

5 対象工事

都庁各局発注工事（各局事業に伴う委託工事等も含む）

6 対象地域と取組

競技会場周辺や区部、多摩などに対象地域を分け、工事発注時期の調整や工事車両の出入り調整など各地域における工事調整の取組をきめ細かく設定

7 今後の対応等

- ・都庁各局工事で取組方針（2019.10 版）に沿って対応
- ・建設発生土の受入を調整
- ・国、自治体、民間団体へ工事調整の協力を依頼
- ・工事関係事業者へ路上工事（道路占用工事等）の抑制を依頼



「東京 2020 大会開催時における都庁発注工事の調整に関する取組方針（2019.10 版）」を策定しました

東京都は、快適な通勤環境や企業の生産性の向上を図る新しいワークスタイルや企業活動の東京モデルを「スムーズBiz」とし、全ての人々がいきいきと働き、活躍できる社会の実現に向け、2020大会の交通混雑緩和に向けた交通需要マネジメント（TDM）とテレワーク、時差 Biz などの取組を一体的に推進しています。

このたび、大会期間中の交通混雑緩和に向けた都庁の取組「都庁 2020 アクションプラン」の取組の一つである都庁発注工事の調整について、今夏の工事調整の試行や、「会場周辺交通対策（2019.10）」の取りまとめなどの大会輸送計画の進捗状況等を踏まえ、下記のとおり、本年 4 月 12 日に公表した取組方針を更新しましたので、お知らせいたします。

記

1 東京 2020 大会開催時における都庁発注工事の調整に関する取組方針（2019.10 版） 【別添①（概要版）】【別添①（詳細版）】

（1）主な変更内容

● 対象期間の変更

工事調整を行う期間を、大会前の 7 月 20 日からに変更

- ・ 日中の路上工事を避け、車両数を削減する期間：
7 月 20 日（月）～8 月 10 日（月）、8 月 25 日（火）～9 月 6 日（日）の計 35 日間
- ・ 路上工事以外の施設工事等で車両数を削減する期間：
7 月 20 日（月）～8 月 10 日（月）、8 月 25 日（火）～9 月 6 日（日）の計 35 日間の土日を除く計 25 日間

● 対象エリアと取組内容の変更【参考①】

- ・ 大会関係地域：大会関係地域①〔関係者輸送ルート（ORN・PRN）、観客輸送ルート、競技会場周辺（通行規制道路・迂回道路・迂回道路内）〕と大会関係地域②〔重点取組地区 16 地区（大会関係地域①を除く）〕にエリアを分割
- ・ 区部（会場・ORN 等がある区内）：環状 7 号線の内側・外側にエリアを分割
- ・ 多摩地域（圏央道内側）：混雑回避の取組実施に変更 等

(2) 今回新規で追加した内容

- 都庁発注工事の調整に関する基本的な考え方を明記
- 海の森水上競技場に近接する建設発生土受入施設の調整
- 工事関係事業者への協力依頼【別添②】
- 競技会場周辺において路上工事（道路占用工事等）を抑制していただきたい路線・エリア・時間を明示【別添③】

※ 別添③は参考抜粋として、オリンピックスタジアム（新国立競技場）・東京体育館、カヌー・スラロームセンターの会場の図面を添付しています。

都内各競技会場周辺における図面は、「2020TDM 推進プロジェクト」ホームページ（⇒ <https://2020tdm.tokyo/Construction>）に掲載しています。

「2020 年に向けた実行プラン」事業

本件は、「2020 年に向けた実行プラン」に係る事業です。

【問い合わせ先】

- ◆「都庁発注工事の調整に関する取組方針（2019.10 版）」に関すること
リソリック・パブリック準備局 大会施設部 輸送課
電話：03-5320-4245（内 38-472）
- ◆大会時の建設発生土の受入調整に関すること
 - ・建設発生土再利用センター
都市整備局 都市づくり政策部 広域調整課
電話：03-5388-3231（内 30-233）
 - ・中防内側受入基地、新海面処分場
港湾局 臨海開発部 開発整備課
電話：03-5320-5570（内 43-340）
- ◆「スムーズビズ」に関すること
都市整備局 都市基盤部 調整課
電話：03-5388-3317（内 30-403）

1. 目的

- ① 路上工事によるボトルネック化回避（大会関係地域等）
- ② 工事から発生する車両数の削減（都内全域）

2. 都庁発注工事の基本的な考え方【別紙①】

- その年に必要な工事を着実に実施することを前提

3. 工事調整の手法

- (A) 工事発注時期の調整
- (B) 工事の一時休止
- (C) 工事車両の出入り調整
 - ・ 朝夕ピーク時間、競技会場周辺は競技前3時間から競技後1～2時間※を避ける（※ 新国立競技場、東京スタジアムは競技後2時間まで）
 - ・ 資材の搬入前倒し、廃材等の集約による搬出回数削減 等
- (D) 工事を夜間に実施・振替
- (E) 混雑回避（高速道路や大会関係地域①を通行しない等）

4. 対象期間

- ① 日中の路上工事を避け、車両数を削減 計35日間
- ② 路上工事以外の施設工事等で車両数を削減 計25日間

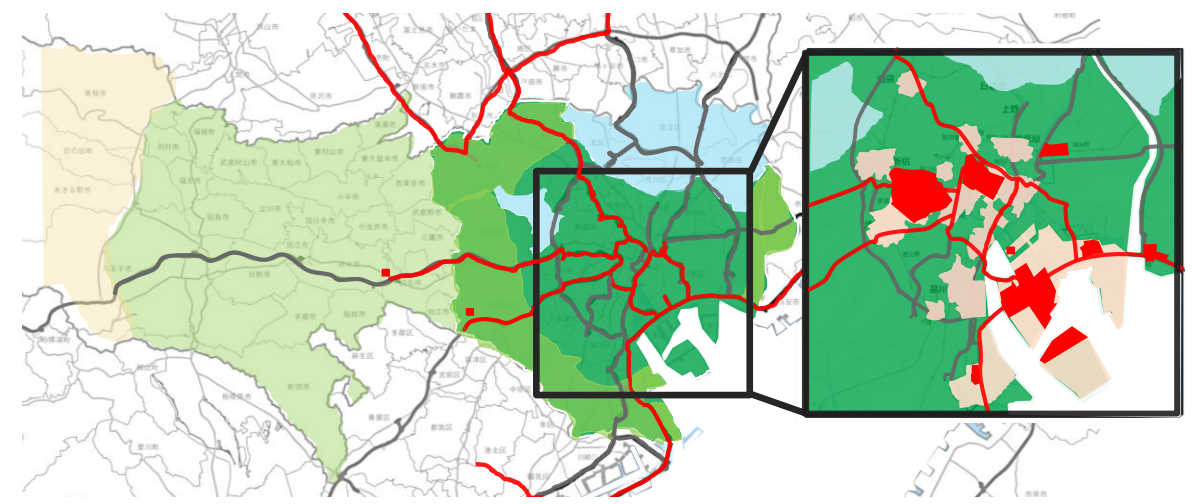
日	月	火	水	木	金	土
7/19	7/20	7/21	7/22	7/23	7/24 オリ開会式	7/25
7/26	7/27	7/28	7/29	7/30	7/31	8/1
8/2	8/3	8/4	8/5	8/6	8/7	8/8
8/9 オリ閉会式	8/10	8/11	8/12	8/13	8/14	8/15
8/16	8/17	8/18	8/19	8/20	8/21	8/22
8/23	8/24	8/25 パラ開会式	8/26	8/27	8/28	8/29
8/30	8/31	9/1	9/2	9/3	9/4	9/5
9/6 パラ閉会式	9/7	9/8	9/9	9/10	9/11	9/12

5. 対象工事

- 都庁各局発注工事（各局事業に伴う委託工事等も含む）
※ 緊急対応工事や沿道建物へのライフライン供給工事、路面清掃等は対象外

6. 対象地域と取組

- 対象地域における工事調整の取組をきめ細かく設定
- 工事調整の取組が特に必要なエリアを細分化



	多摩地域 (圏央道外)	多摩地域 (圏央道内)	区部 (会場/ORN等がない区内)	区部 (会場・ORN等がある区内/環7外側)	区部 (会場・ORN等がある区内/環7内側)	大会関係地域② ・重点取組16地区 (大会関係地域①を除く)	大会関係地域① ・ORN/PRN ・観客輸送ルート ・競技会場周辺 (通行規制道路・迂回道路、迂回道路内)
路上工事	E 混雑回避 25日間			① 日中の路上工事を避け、車両数を削減（35日間）			
道路工事 (都道等)				A 発注時期調整 C 工事車両 出入り調整 D 夜間振替 E 混雑回避			
企業者 路上工事 (水道・ 下水道等)				A 発注時期調整 B 一時休止 C 工事車両 出入り調整 D 夜間振替 E 混雑回避			
公共工事 (路上工事以外の 施設工事等)				② 車両数を削減（25日間）			
				A 発注時期調整 C 工事車両出入り調整 D 夜間振替 E 混雑回避			

7. 今後の対応、その他工事調整の取組【別紙②】

- 都庁各局工事で取組方針（2019.10版）に沿って対応
- 建設発生土の受入を調整
- 工事関係事業者へ広く工事調整の協力を依頼
- 事業者へ路上工事の抑制を依頼（大会関係地域①）

◆工事発注の考え方

- その年に必要な工事を着実に実施することを前提
 - 平準化に努め、発注時期を適切に調整
(2020年度の工事は、年度当初の4月に年間発注計画を公表)
 - 交通への影響を抑えるために、発注方法等を工夫
- 【取組例】
- ・ 大会期間が準備期間、工場製作期間となるような発注
 - ・ 大会関係地域とその他エリアを組み合わせで発注
 - ・ 単価契約等の小規模工事は、期間中は大会関係地域以外で施工 等

◆具体の工事調整の取組の検討

＜既発注工事＞

- 発注者と受注者で早期に協議を開始し、大会輸送影響度マップや競技スケジュール等を踏まえ、施工計画を変更

＜新規発注工事＞

- 発注時に工事調整の取組を特記仕様書で明示
- 工事契約後、発注者と受注者との協議の上、車両削減等に向けた具体的な取組内容を決定し、施工計画に反映

【取組例】

(A) 工事発注時期の調整

- ・ 発注の前倒し・後倒し

(B) 工事の一時休止

- ・ 現場休工日・夏季休暇期間を大会期間中へ変更

(C) 工事車両出入り調整

- ・ 車両の出入り時間の早朝・夜間等への振替
- ・ 資材等の搬入を大会前に前倒しし、期間中の搬入回数を削減
- ・ 廃材等を集約し、期間中の搬出回数を削減
- ・ 工事関係者の通勤を車から公共交通へ変更 等

(D) 工事を夜間に振替

- ・ 地先状況等も勘案したうえで実施を検討

(E) 混雑回避

- ・ 工事車両の移動の際に、首都高速道路やORN・競技会場周辺を避ける

◆工事調整に係る経費・工期設定

- 大会に起因した工事調整に係る経費・工期は適切に見積もる
- 必要な経費の積算・工期の設定は、原則、既存の積算基準や設計変更ガイドライン等に基づき対応

＜既発注工事＞

- 契約約款に基づき、設計変更で適切に対応

＜新規発注工事＞

- 発注時に工期等を適正に設定し、必要な経費は適切に積算、条件が変更となった場合は、設計変更等で適切に対応

【必要な経費例】

- ・ 一時休止等に伴う保安措置などの現場管理費
- ・ 工事の夜間への振替に伴う、労務費などの変更
- ・ 発生土処分先の変更に伴う運搬費・処分費の変更

◆交通誘導員の確保に向けた調整

- 大会中の工事に係る交通誘導員の確保が困難な場合は、同一現場に複数の警備業者の交通誘導員を配置できるよう施工計画を検討

【同一現場に複数の警備会社の交通誘導員を配置できる例】

- ・ 建物の入口と出口で車両動線が分かれている場合など、担当エリアが分かれており、責任の所在が明確な場合
- ・ 同一作業帯内に配置する誘導員を、日や週ごと等で警備業者を分ける場合

※ 具体的な事例は、現場の状況によって異なる

◆その他

- お盆期間を含むオリパラ移行期間の8月11日～24日は、大会に係る工事調整の対象期間外
- 関係者輸送ルートや競技スケジュール、練習会場等の更新に伴い、取組方針等に変更が生じる場合がある
- この基本的な考え方は原則を示したもので、都庁各局工事の実態に応じて運用するものとする

◆建設発生土の受入調整

- 海の森水上競技場に近接し、関係者輸送ルート等と施設への搬出入ルートが重複している建設発生土受入施設で、混雑緩和のために受入を調整

□対象期間

7月20日～8月10日、8月25日～9月6日

□対象工事

- 都庁発注工事のほか、以下3施設で受入等を行っている他の発注主体の工事も同様の扱い

□受入調整の概要

施設名	昼間の受入	夜間の受入	休業期間の対応
建設発生土再利用センター	受入・搬出中止 ※1	調整なし (受入時間：22:00～5:00) ※3	工事の需要によって、夏季休業期間(8/13～8/16又は8/17まで)の稼働を検討 ※4
中防内側受入基地	受入中止	調整なし (受入時間：22:00～6:00) ※3	
新海面処分場	原則受入中止 ※2	調整なし (受入なし)	

※1：(株)建設資源広域利用センター(UCR受入地)や民間事業者で代替受入
・主なUCR受入地の所在地：青梅・八王子、埼玉県草加・三郷等
・UCR受入地の受入時間：昼間(標準：8:30～16:30)
夜間(受入地ごとに異なる)

※2：期間中の受入が必要な工事は個別調整を実施

※3：施設周辺の関係者輸送ルート・夜間競技の時間等を避けて車両の搬入・搬出を調整

※4：日祝は通常通り休業

◆交通対策の検討に関する情報提供等

- 工事調整の具体の取組を検討できるよう、大会輸送や交通対策等に関する情報を広く提供
- 交通対策等の情報に変更等が生じた場合は、早期に提供

＜主な内容＞

- ・ 関係者輸送ルート(ORN・PRN)
- ・ 観客輸送ルート
- ・ 重点取組地区16地区
- ・ 会場周辺交通対策(2019.10)取りまとめ【2019年10月】
- ・ 輸送運営計画V2取りまとめ【2019年12月】
(輸送運営計画V2案は2019年6月に公表済)
- ・ 大会輸送影響度マップ【適宜更新】
- ・ 企業のアクションプラン作成に向けた支援
(コンサルタントによる無料相談、TDMハンドブックの活用等)

※ 大会輸送や交通対策等に関する情報は、「2020TDM推進プロジェクト」ホームページで公表 ⇒<https://2020tdm.tokyo>

◆工事発注者や受注者団体への協力依頼

- 工事発注者（公共・民間）や、業界団体を通じて工事の受注者に対して、広く工事調整への協力を依頼

<工事発注者>

●公共事業者（国・自治体等）

都の取組方針に沿った工事調整の取組を依頼

●民間事業者【別添②】

- ・ 都の取組方針を準用し、区部、特に大会関係地域において、大会期間を外した工期設定・発注を依頼
- ・ 受注者と協力して、工事車両削減に向けた具体的な取組の検討を依頼

<工事受注者>

●建設業界団体【別添②】

- ・ 大会期間中に実施する工事では、混雑箇所・時間を回避した工事関係車両の移動、資材等の搬入前倒しや廃材等の搬出回数の削減、現場への通勤手段の変更等を依頼

◆路上工事（道路占用工事等）の抑制【別添③】

- 広く工事調整の協力を依頼していくが、そのうち特にORN等の競技会場周辺の道路では、路上工事に伴う車線規制による混雑を回避する必要があるため、道路占用工事の事業者等に対して、路上工事抑制の協力を依頼

□対象路線

大会関係地域①の都道（車道・歩道）

- ・ 関係者輸送ルート（ORN・PRN）
- ・ 観客輸送ルート
- ・ 競技会場周辺（通行規制道路、迂回道路、迂回道路内）

※ 港湾局所管道路も含む

※ 国道・区市道においても同様の扱いを依頼予定

□対象期間

- ・ 昼間：全競技会場共通
7月20日～8月10日、8月25日～9月6日
- ・ 夜間：競技日程・時間によって夜間施工時間を調整

□対象工事

- ・ 都の工事のほか公共・民間すべての路上工事（道路占用工事等）が対象

※ 緊急工事や沿道建物へのライフライン供給工事、路面清掃等は除く

□その他

- ・ 路上作業（道路使用）も同様の扱いとなるよう関係機関と調整
- ・ 道路占用等の工事に係る手続きは、期間中も実施

東京 2020 大会開催時における都庁発注工事の調整に関する取組方針 (2019.10 版)

1. 概要

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会では、大会関係者や観客等の移動により交通量の増加が見込まれます。何も交通対策を講じなければ、道路・鉄道ともに深刻な混雑が発生し、大会運営に支障をきたすだけでなく、市民生活や経済活動にも影響が生じることが想定されるため、交通混雑緩和に向けた取組を進めています。

そこで、本年 4 月に都庁として取り組む内容を「都庁 2020 アクションプラン」として取りまとめ、その取組の一環で「東京 2020 大会開催時における都庁発注工事の調整に関する取組方針」(以下、「取組方針」という)を策定しました。

取組方針策定後、今夏の都庁における工事調整の試行や、「会場周辺交通対策(2019.10)」の取りまとめなどの大会輸送計画の進捗状況、業界団体からの意見等も踏まえ、都庁各局横断の会議で具体策を検討し、このたび、「東京 2020 大会開催時における都庁発注工事の調整に関する取組方針(2019.10 版)」(以下、「取組方針(2019.10 版)」という)を取りまとめました。

今後は、都庁各局で取組方針(2019.10 版)に沿って、大会時の工事の調整を進めていきます。また、都庁だけではなく、工事の発注主体となる公共・民間事業者や建設業界団体等に対して、取組方針(2019.10 版)に沿って、広く工事調整の協力を依頼していきます。

2. 都庁発注工事の調整の目的

大会期間中の交通混雑緩和に向け、主に関係者輸送ルート(ORN・PRN)や競技会場周辺等において、路上工事による道路の車線規制に伴うボトルネックを回避するとともに、広く都内全域で、工事により発生する工事関係車両の削減を図ることにより、大会時の円滑な輸送の実現と市民生活や経済活動の両立を図ることとしています。

3. 工事調整の手法

以下の手法により、都庁発注工事の調整を行います。

(A) 工事発注時期の調整

- ・ 工事発注の前倒しや後倒しにより、大会期間中に工事を実施しない

(B) 工事の一時休止

- ・ 大会期間中に工期が重なる工事について、期間中は工事を休止する

(C) 工事車両の出入り調整

大会期間中に実施する工事について、以下の取組を実施します。

- ・ 車両の出入り時間を早朝・夜間等へ振り替えるほか、朝夕ピーク時間を避ける、競技会場周辺は競技前 3 時間から競技後 1～2 時間※を避ける（※ オリンピックスタジアム（新国立競技場）、東京スタジアムは競技後 2 時間まで）
- ・ 資材等の搬入を大会前に前倒しし、期間中の搬入回数を削減
- ・ 廃材等を集約し、期間中の搬出回数を削減
- ・ 工事関係者の通勤を車から公共交通へ変更 等

(D) 工事を夜間に実施・振替

- ・ 大会期間中は、昼間に実施する工事を夜間に振り替える

※ 競技会場周辺では競技日程を考慮するほか、地先状況等も勘案したうえで実施を検討します。

(E) 混雑回避

- ・ 工事車両の移動の際に首都高速道路や大会関係地域①（関係者輸送ルート（ORN・PRN）、競技会場周辺）等を避ける 等

4. 対象期間

本年 4 月公表の取組方針では、路上工事の調整は 7 月 23 日から、路上工事以外の施設工事等では 7 月 27 日からを対象期間としていましたが、オリンピック開会式前において、一部競技の実施、練習会場との往復、諸行事の開催などにより交通量の増が見込まれるため、開会式に先立ち、7 月 20 日から工事の調整を行うこととしました。

また、オリンピックの選手、関係者の出国は閉会式翌日がピークであり、迅速に輸送する必要があることから、定時性が求められる閉会式翌日の 8 月 10 日も対象期間としています。

パラリンピック期間については、4 月公表の取組方針では、開会式前日の 8 月 24 日から、閉会式翌日の 9 月 7 日も対象期間に含めていましたが、今回の取組方針（2019.10）では、パラリンピック期間中の 8 月 25 日から 9 月 6 日ま

でに変更しています。

- (1) 日中の路上工事を避け、車両数を削減する期間：

 2020年7月20日～8月10日、8月25日～9月6日の計35日間

- (2) 路上工事以外の施設工事等で車両数を削減する期間

 2020年7月20日～7月24日、7月27日～7月31日、8月3日～8月7日、8月10日、8月25日から8月28日、8月31日～9月4日の計25日間

<2020年カレンダー>

日	月	火	水	木	金	土
7/19	7/20	7/21	7/22	7/23	7/24 オリ開会式	7/25
7/26	7/27	7/28	7/29	7/30	7/31	8/1
8/2	8/3	8/4	8/5	8/6	8/7	8/8
8/9 オリ閉会式	8/10	8/11	8/12	8/13	8/14	8/15
8/16	8/17	8/18	8/19	8/20	8/21	8/22
8/23	8/24	8/25 パラ開会式	8/26	8/27	8/28	8/29
8/30	8/31	9/1	9/2	9/3	9/4	9/5
9/6 パラ閉会式	9/7	9/8	9/9	9/10	9/11	9/12

5. 対象工事

都庁各局発注工事（各局事業に伴う委託工事等も含む）が対象です。

なお、緊急対応工事や沿道建物へのライフライン供給工事、路面清掃等は工事調整の対象外です。

6. 対象地域と取組

- (1) 対象地域

本年4月公表の取組方針から工事調整の取組が必要なエリアを見直し、工事調整の取組をきめ細かく設定しています。

＜主な変更内容＞

- ・ 大会関係地域を、大会関係地域①（関係者輸送ルート（ORN・PRN）、観客輸送ルート、競技会場周辺（通行規制道路、迂回道路、迂回道路内）と大会関係地域②（重点取組地区 16 地区）に分割し、大会関係地域①では、夜間工事についても競技日程・時間を踏まえた施工時間調整に変更
- ・ 区部（会場・ORN 等がある区内）を環状 7 号線内側と外側に分割し、取組内容を変更
- ・ 多摩地域は、発注時期の調整等を行わず、混雑回避の取組に変更

（２）都庁発注工事の分類

都庁発注工事を以下の通り分類しています。

① 路上工事〔道路工事（都道等）〕

都道や国道（都管理）上で実施する道路補修工事や道路改良工事等

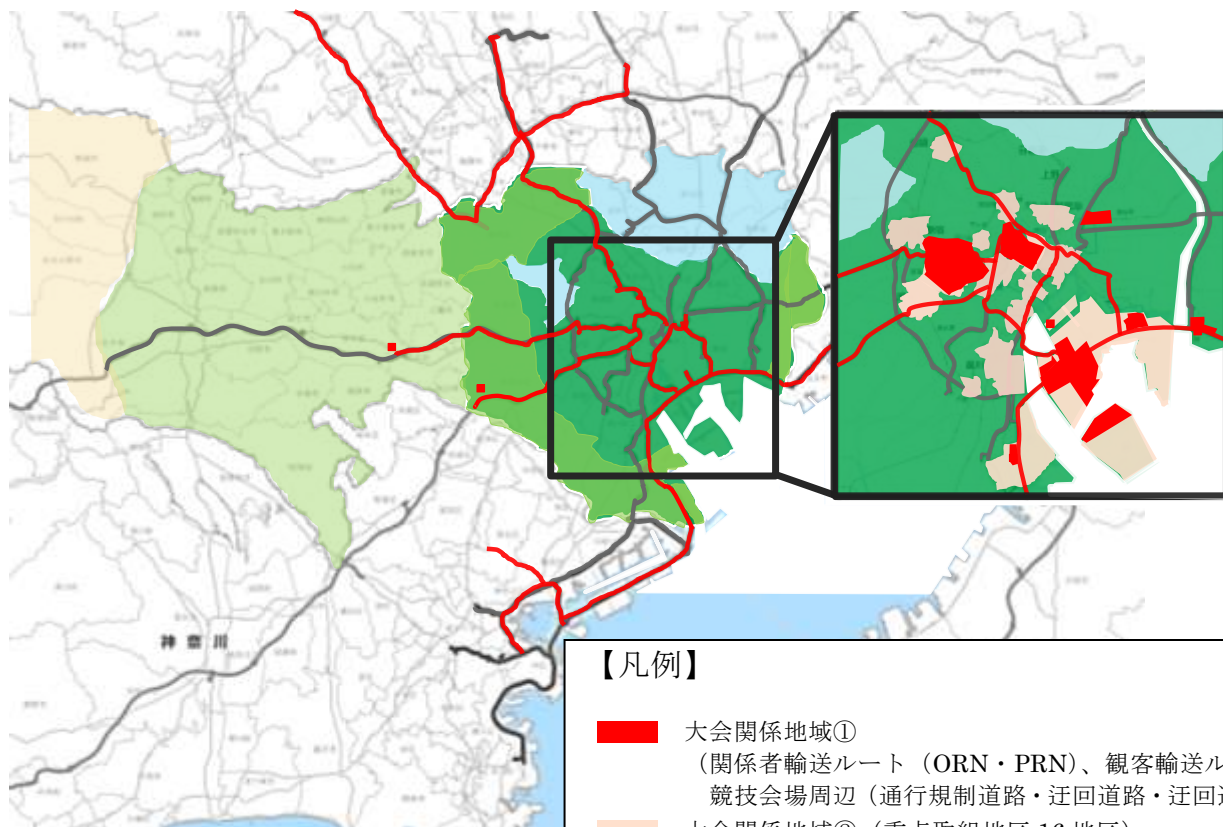
② 路上工事〔企業者路上工事〕

道路上で実施する、水道や下水道の補修や更新・新設等に関する工事等

③ 公共工事（路上工事以外の施設工事等）

敷地内等で施工する土木・建築・設備等の施設工事や、道路の車線規制を伴わないシールド工事や道路新設工事等

＜対象地域における工事調整の取組＞



【凡例】

- 大会関係地域①
(関係者輸送ルート (ORN・PRN)、観客輸送ルート、競技会場周辺 (通行規制道路・迂回道路・迂回道路内))
- 大会関係地域② (重点取組地区 16 地区)
- 区部 (会場・ORN 等がある区内／環 7 内側)
- 区部 (会場・ORN 等がある区内／環 7 外側)
- 区部 (会場・ORN 等がない区内)
- 多摩地域 (圏央道内側)
- 多摩地域 (圏央道外側)

※ 関係者輸送ルート (ORN・PRN)、観客輸送ルート、競技会場周辺、重点取組地区 16 地区の詳細は「2020TDM 推進プロジェクト」HP を参照

⇒<https://2020tdm.tokyo>

		多摩地域 (圏央道外)	多摩地域 (圏央道内)	区部 (会場・ORN 等がない区 内)	区部 (会場・ORN等 がある区内／ 環 7 外側)	区部 (会場・ORN等 がある区内／ 環 7 内側)	大会関係地域② ・重点取組16地区 (大会関係地域① を除く)	大会関係地域① ・ORN/PRN ・観客輸送ルート ・競技会場周辺 (通行規制道路・迂回 道路・迂回道路内)
路上工事	道路工事 (都道等)	E 混雑回避 25 日間			①日中の路上工事を避け、車両数を削減 (35日間)		A 発注時期調整 B 一時休止 D 夜間振替	A 発注時期調整 B 一時休止 D 夜間振替※
	企業者 路上工事 (水道・ 下水道等)							
	公共工事 (路上工事以外の 施設工事等)				②車両数を削減 (25日間)			A 発注時期調整 B 一時休止 C 工事車両 出入り調整 D 夜間振替※ E 混雑回避

7. 都庁発注工事の調整に関する基本的な考え方

(1) 工事発注の考え方

- ・ その年に必要な工事を着実に実施することを前提に、大会時の交通混雑緩和に向けて、都庁発注工事を調整します。
- ・ 工事の平準化に努め、発注時期を適切に調整します。
なお、2020年度の工事は、年度当初の4月に年間発注計画を公表する予定です。
- ・ 交通への影響を抑えるために、発注方法を工夫します。

【取組例】

- ・ 大会期間が準備期間、工場製作期間となるような発注
- ・ 大会関係地域とその他エリアを組み合わせる発注
- ・ 単価契約等の小規模工事は、期間中は大会関係地域以外で施工 等

(2) 具体の工事調整の取組の検討

- ・ 既に発注済の工事で、対象期間中に工期が重なる工事については、発注者と受注者で早期に協議を開始し、大会輸送影響度マップや競技スケジュール等を踏まえ、施工計画を変更します。
- ・ 今後発注する工事では、発注時に工事調整の取組を特記仕様書で明示し、工事契約後に発注者と受注者との協議の上、車両削減等に向けた具体的な取組内容を決定し、施工計画に反映します。

【取組例】

(A) 工事発注時期の調整

- ・ 発注の前倒し・後倒し

(B) 工事の一時休止

- ・ 現場休工期・夏季休暇期間を大会期間中へ変更 等

(C) 工事車両出入り調整

- ・ 車両の出入り時間の早朝・夜間等への振替
- ・ 資材等の搬入を大会前に前倒しし、期間中の搬入回数を削減
- ・ 廃材等を集約し、期間中の搬出回数を削減
- ・ 工事関係者の通勤を車から公共交通へ変更 等

(D) 工事を夜間に振替

- ・ 地先状況等も勘案したうえで実施を検討

※ 競技会場周辺では、競技日程・時間も考慮して施工時間を調整

(E) 混雑回避

- ・ 工事車両の移動の際に、首都高速道路や関係者輸送ルート（ORN・PRN）、競技会場周辺等を避ける

（３）工事調整に係る経費・工期設定

- ・ 大会に起因した工事調整に係る経費・工期は適切に見積もります。
- ・ 必要な経費の積算・工期の設定は、原則、既存の積算基準や設計変更ガイドライン等に基づき対応します。
- ・ 既に発注済の工事で、対象期間に工期が重なる工事については、契約約款に基づき、工事調整に係る経費・工期は設計変更で適切に対応します。
- ・ 今後発注する工事では、発注時に工事調整の取組を特記仕様書で明示し、工期等を適正に設定するとともに、必要な経費は基準等に基づき適切に積算します。工事契約後に発注者と受注者で協議の上、車両削減等に向けた具体的な取組内容を決定し、発注時から条件が変更となった内容等については、設計変更等で適切に対応します。

【必要な経費例】

- ・ 一時休止等に伴う保安措置などの現場管理費
- ・ 工事の夜間への振替に伴う労務費などの変更
- ・ 発生土処分先の変更に伴う運搬費・処分費の変更

（４）交通誘導員の確保に向けた調整

交通誘導員の不足に伴い、大会中の工事に係る交通誘導員の確保が困難な場合は、同一現場に複数の警備業者の交通誘導員を配置できるよう施工計画を検討します。

【同一現場に複数の警備会社の交通誘導員を配置できる例】

※ 具体的な事例は、現場の状況によって異なります。

- ・ 建物の入口と出口で車両動線が分かれている場合など、担当エリアが分かれており、責任の所在が明確な場合
- ・ 同一作業帯内に配置する誘導員を日や週ごと等で警備業者を分ける場合

(5) その他

- ・ お盆期間を含むオリンピックからパラリンピックへの移行期間である8月11日から24日までの期間は、大会に係る工事調整の対象期間外とします。
- ・ なお、関係者輸送ルート（ORN・PRN）や競技スケジュール、練習会場等の更新に伴い、取組方針（2019.10 版）等に変更が生じる場合があります。
- ・ この基本的な考え方は、都庁発注工事の調整の原則を示したもので、都庁各局工事の実態に応じて運用するものとしています。

8. その他の工事調整等に係る取組

大会時の交通混雑緩和に向けた工事調整を進めるために、都庁として以下の取組を進めていきます。

(1) 建設発生土の受入調整

海の森水上競技場に近接し、関係者輸送ルート（ORN・PRN）等と、施設への搬出入ルートが重複している建設発生土受入施設で、混雑緩和のために以下の通り、受入を調整します。

① 対象施設

建設発生土再利用センター、中防内側受入基地、新海面処分場

② 受入調整を行う期間

2020年7月20日～8月10日、8月25日～9月6日

③ 対象工事

都庁発注工事のほか、上記施設で受入等を行っている他の発注主体の工事も同様の扱いとします。

④ 受入調整の概要

施設名	昼間の受入	夜間の受入	休業期間の対応
建設発生土再利用センター	受入・搬出中止 ※1	調整なし (受入時間：22:00～5:00) ※3	工事の需要によって、夏季休業期間（8/13～8/16又は8/17まで）の稼働を検討 ※4
中防内側受入基地	受入中止	調整なし (受入時間：22:00～6:00) ※3	
新海面処分場	原則受入中止 ※2	調整なし (受入なし)	

※ 1 : (株)建設資源広域利用センター (UCR 受入地) や民間事業者で代替受入

・主な UCR 受入地の所在地 : 青梅・八王子、埼玉県草加・三郷 等

・UCR 受入地の受入時間 : 昼間 (標準 : 8:30~16:30)

夜間 (受入地ごとに異なる)

※ 2 : 期間中の受入が必要な工事は個別調整を実施

※ 3 : 施設周辺の関係者輸送ルート・夜間競技の時間等を避けて車両の搬入・搬出を調整

※ 4 : 日祝は通常通り休業

(2) 交通対策の検討に関する情報提供等

工事調整の具体の取組を検討できるよう、大会輸送や交通対策等に関する情報を広く提供していきます。また、情報に変更等が生じた場合は、早期に情報提供していきます。

<主な内容>

・関係者輸送ルート (ORN・PRN)

・観客輸送ルート

・重点取組地区 16 地区

・会場周辺交通対策 (2019.10) 取りまとめ【2019 年 10 月】

・輸送運営計画 V2 取りまとめ【2019 年 12 月】

※輸送運営計画 V2 案は 2019 年 6 月に公表済

・大会輸送影響度マップ【適宜更新】

・企業のアクションプラン作成に向けた支援

(コンサルタントによる無料相談、TDM ハンドブックの活用など)

※ 大会輸送や交通対策等に関する情報は、「2020TDM 推進プロジェクト」ホームページで公表しています。⇒<https://2020tdm.tokyo>

(3) 工事発注者や受注者団体への協力依頼

都内では都庁発注工事以外にも、様々な主体によって工事が実施されています。そのため、都庁の政策連携団体等へ工事の調整を依頼するほか、工事を発注する公共事業者や民間事業者、並びに業界団体を通じて工事の受注者

に対しても、広く工事調整への協力を依頼していきます。

<工事発注者>

① 公共事業者（国・自治体等）

都の取組方針に沿った工事調整の取組を依頼していきます。

② 民間事業者【別添②参照】

- ・ 都の取組方針を準用し、区部、特に大会関係地域において、大会期間を外した工期設定・発注を依頼するほか、受注者と協力して具体的な工事車両削減に向けた取組を検討していただくよう依頼していきます。

<工事受注者>

① 建設業界団体【別添②参照】

- ・ 大会期間中に実施する工事では、混雑箇所・時間を回避した工事関係車両の移動、資材等の搬入前倒しや廃材等の搬出回数の削減、現場への通勤手段の変更等を依頼していきます。

（４）路上工事（道路占用工事等）の抑制【別添③参照】

広く事業者へ工事調整への取組の協力を依頼していきますが、特に関係者輸送ルート（ORN・PRN）や競技会場周辺の道路では、路上工事に伴う車線規制による混雑を回避する必要があるため、道路占用工事の事業者等に対して、路上工事の抑制の協力を依頼していきます。

① 対象路線

大会関係地域①の都道（車道・歩道）

- ・ 関係者輸送ルート（ORN・PRN）
- ・ 観客輸送ルート
- ・ 競技会場周辺（通行規制道路、迂回道路、迂回道路内）

※港湾局所管道路も含みます

※国道・区市道においても同様の扱いを依頼していきます。

② 対象期間

- ・ 昼間：全競技会場共通

7月20日～8月10日、8月25日～9月6日

- ・ 夜間：競技日程・時間によって夜間施工時間を調整

③ 対象工事

都の工事のほか公共・民間すべての路上工事（道路占用工事等）が対象

※ 緊急工事や沿道建物へのライフライン供給工事、路面清掃等は除きます。

④ その他

- ・ 路上作業（道路使用）も同様の扱いとなるよう関係機関と調整します。
- ・ 道路占用等の工事に係る手続き（窓口業務）は、対象期間中も実施します。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会期間中の 交通混雑緩和に向けてご協力をお願いします！

別添②

- 大会期間中は選手や大会関係者、メディア、観客等、多くの方が東京を訪れるため、何も対策をしないと、道路や公共交通機関の深刻な混雑が発生する恐れがあります。
- 経済活動と東京2020大会輸送の両立を図るため、東京都は、国、大会組織委員会とともに、交通量の抑制、分散、平準化に取り組んでいます。

大会期間中、何も交通対策を行わなかった場合…



首都高では交通集中により**渋滞が約2倍に悪化**
一般道路では**朝、都心に向かう道路で渋滞が発生**

1日あたり首都高を走る車が約7万台ほど増加

ご協力いただきたいこと

工事発注者の皆さま

◆ 大会期間を外した工期の設定

区部、特に大会関係地域※1で日中の工事を予定している場合は、**大会期間に重ならない工期**を検討していただくなど、ご配慮をお願いします。

◆ 受注者と具体的な取組の検討

工事関係車両の削減に向けて、**受注者と協力して具体的な取組を検討**していただくなど、ご協力をお願いします。

工事受注者の皆さま

＜大会期間中に圏央道内側で実施する工事について＞

◆ 混雑箇所の迂回・混雑時間の回避

工事関係車両の移動の際は、**高速道路や競技会場周辺の通行を控えていただく、混雑する時間帯※2を外していただく**など、ご配慮をお願いします。

◆ 現場への車両搬入・搬出の調整

資材の搬入前倒しや廃材等の搬出回数削減など、大会期間中の車両数削減について、ご協力をお願いします。

◆ 現場への通勤手段の変更

工事現場への**通勤**の際は、**自動車から公共交通機関の利用に変更**していただくなど、ご協力をお願いします。

特に**競技会場周辺の道路**では、**車線規制による混雑を回避**するため、**昼間は路上工事・作業（道路占用工事等）を控え、夜間も競技日程・時間によって施工時間を調整**していただくようご協力をお願いします。【裏面参照】

ご協力いただきたい期間

＜2020年カレンダー＞

オリンピック：7月24日～8月9日
パラリンピック：8月25日～9月6日

日	月	火	水	木	金	土
7/19	7/20	7/21	7/22	7/23	7/24 オリンピック 開会式	7/25 自転車競技
7/26 自転車競技	7/27 トライアスロン	7/28 トライアスロン	7/29	7/30	7/31 競歩	8/1 トライアスロン
8/2 マラソン	8/3	8/4	8/5	8/6	8/7 競歩	8/8 競歩
8/9 オリンピック 閉会式	8/10 マラソン	8/11	8/12	8/13	8/14	8/15
8/16	8/17	8/18	8/19	8/20	8/21	8/22
8/23	8/24	8/25 パラリンピック 開会式	8/26	8/27	8/28	8/29 トライアスロン
8/30 トライアスロン	8/31	9/1	9/2	9/3	9/4	9/5
9/6 パラリンピック 閉会式	9/7 マラソン	9/8	9/9	9/10	9/11	9/12

日中の路上工事を避け、車両数を削減していただきたい期間

工事から発生する車両数を削減していただきたい期間

- ※1 大会関係地域： ※ 裏面参照
- ・関係者輸送ルート（ORN/PRN）※
 - ・観客輸送ルート
 - ・競技会場周辺※
 - ・重点取組地区（16地区）※

- ※2 混雑する時間帯：
- ・交通混雑が発生しやすい朝夕ピーク時間
 - ・競技会場周辺や関係者輸送ルート（ORN）では、競技前3時間から競技後1～2時間の混雑を想定

関係者輸送ルート（ORN/PRN）、観客輸送ルート、競技会場、重点取組地区（16地区）等の詳細は
「2020TDM推進プロジェクト」HP
をご確認ください。

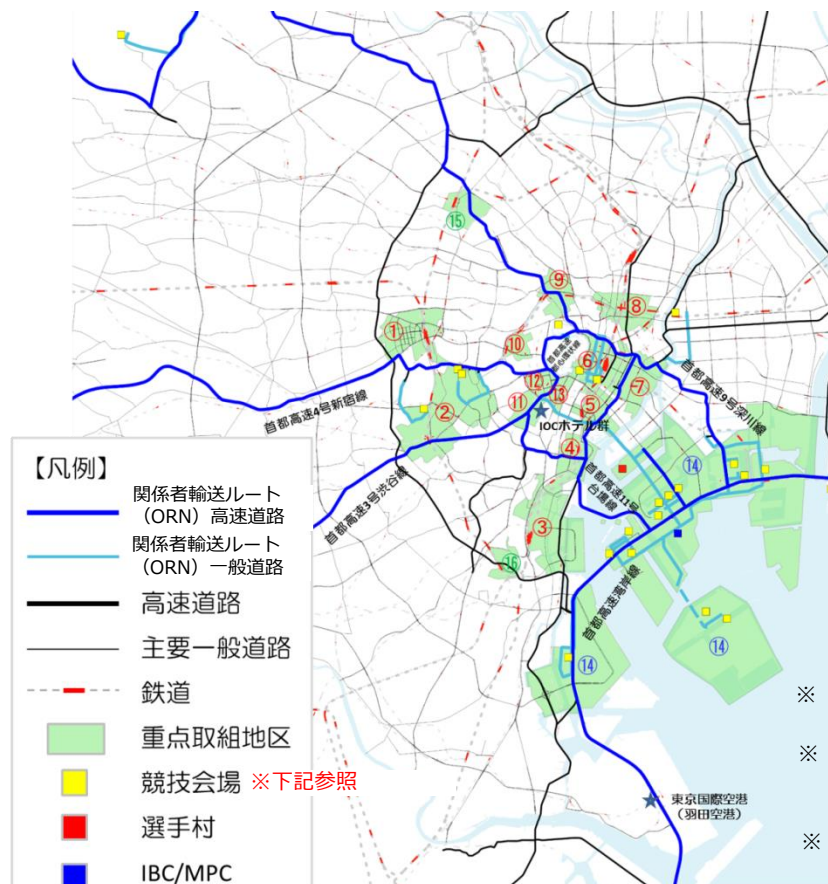
⇒ <https://2020tdm.tokyo>



＜お問い合わせ先＞



東京都オリンピック・パラリンピック準備局
大会施設部 輸送課 電話 (03)5320-4245



重点取組地区(16地区)

【ヘリテッジゾーン】

- ①新宿
- ②渋谷
- ③品川
- ④浜松町・田町
- ⑤新橋・汐留
- ⑥大手町・丸の内・有楽町
- ⑦八重洲・日本橋
- ⑧神田・秋葉原・御茶ノ水
- ⑨九段下・飯田橋
- ⑩番町・麹町
- ⑪青山・表参道
- ⑫赤坂・六本木
- ⑬霞ヶ関・虎ノ門

【東京ベイゾーン】

- ⑭晴海・有明・台場・豊洲・大井ふ頭

【その他】

- ⑮池袋
- ⑯大崎

※ 関係者輸送ルート(ORN)は、2019年3月末時点の公表資料

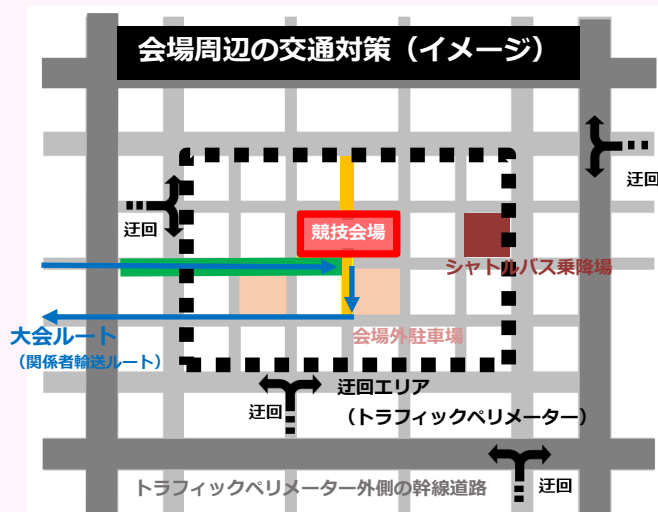
※ 重点取組地区(16地区)は、「競技会場等が集中」、「道路・鉄道の混雑箇所を通過する交通が多い」という点から抽出

※ 詳細は「2020TDM推進プロジェクト」HPを参照
<https://2020tdm.tokyo/Construction>

(この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 平29情使、第1552号))

競技会場周辺

会場周辺の交通対策（イメージ）



①進入禁止エリア (セキュアベリメーター)

会場等を囲む物理的な境界線。大会関係車両以外の進入を禁止するエリア

②通行規制エリア (会場直近対策)

規制標識を設置し通過交通を制限

③迂回エリア (トラフィックベリメーター)

案内看板や広報等により、会場直近を通り抜けようとする車両に迂回を促すエリア

④専用レーン (専用通行帯)

優先レーン (優先通行帯)

規制標識等を設置し、大会関係車両の通行帯を指定

※ 通行規制エリア、迂回エリアは、居住者に加え業務や施設利用等、その他所用のある車両などは原則、通行可

競技会場の周辺では、通行規制や迂回路が設定されるなどの交通対策が行われます。

詳細は
こちら

「2020TDM推進プロジェクト」HPに、各競技会場の「会場周辺交通対策図 (2019.10)」を基に、路上工事・作業 (道路占用工事等) を控えていただきたい
 路線・エリアを明示しています。 ⇒ <https://2020tdm.tokyo/Construction>



【概念図】 競技会場周辺で路上工事（道路占用工事等）を控えていただきたい路線・エリア

オリンピック・パラリンピック東京大会において、競技会場等周辺一般道における交通混雑を緩和するため、主に以下の交通対策を実施する予定です。

区 分	目 的	方 法	対 象 等
①進入禁止エリア (セキュアペリメーター)	競技会場等の設置	会場等を囲む物理的なフェンス等を設置	大会関係者以外の車両や歩行者、自転車は通行不可
②通行規制エリア (会場直近対策)	通過交通の規制	規制標識を設置し通過交通を制限	通過交通は通行不可※ 歩行者・自転車は原則、通行可
③迂回エリア (トラフィックペリメーター)	通過交通の抑制	案内看板や広報等により、会場直近を通り抜けしようとする車両の迂回を促す	通過交通は迂回※ 歩行者・自転車は原則、通行可
④専用レーン、優先レーン (専用通行帯、優先通行帯)	大会関係車両の 定時性確保	規制標識等を設置し、大会関係車両の 通行帯を指定	専用レーン：大会関係車両以外通行禁止 優先レーン：大会関係車両が通行していない場合は通行可

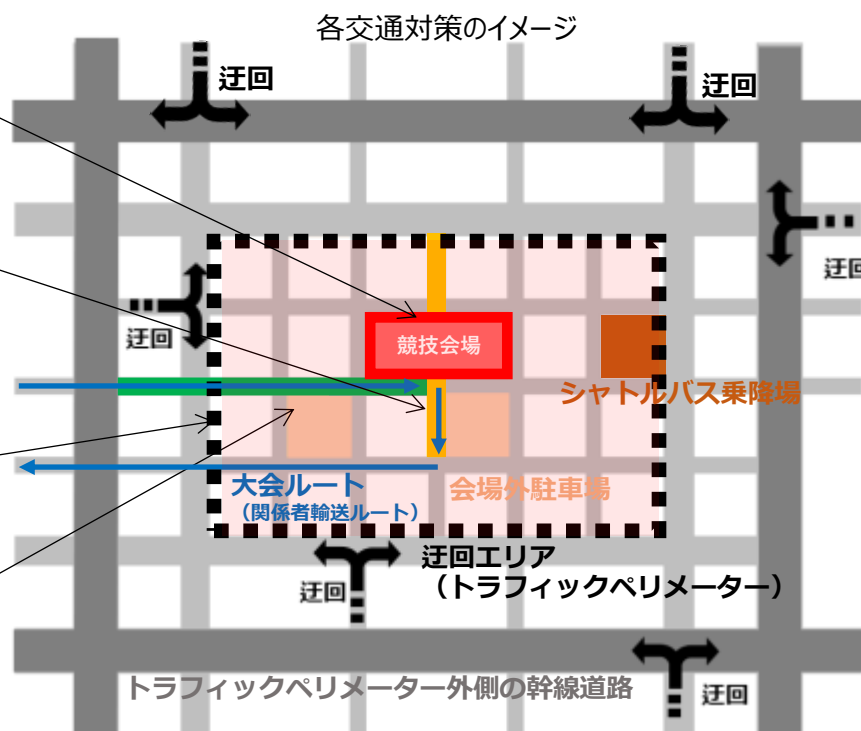
※居住者に加え業務や施設利用等その他所用のある車両などは原則、通行可

**①進入禁止エリア
(セキュアペリメーター)**
会場等を囲む物理的な境界線。
大会関係車両以外の進入を禁止するエリア

**②通行規制エリア
(会場直近対策)**
規制標識を設置し通過交通を制限する

**③迂回エリア
(トラフィックペリメーター)**
案内看板や広報等により、会場直近を通り抜けしようとする
車両に迂回を促すエリア

**④専用レーン (専用通行帯)
優先レーン (優先通行帯)**
規制標識等を設置し、大会関係車両の通行帯を指定

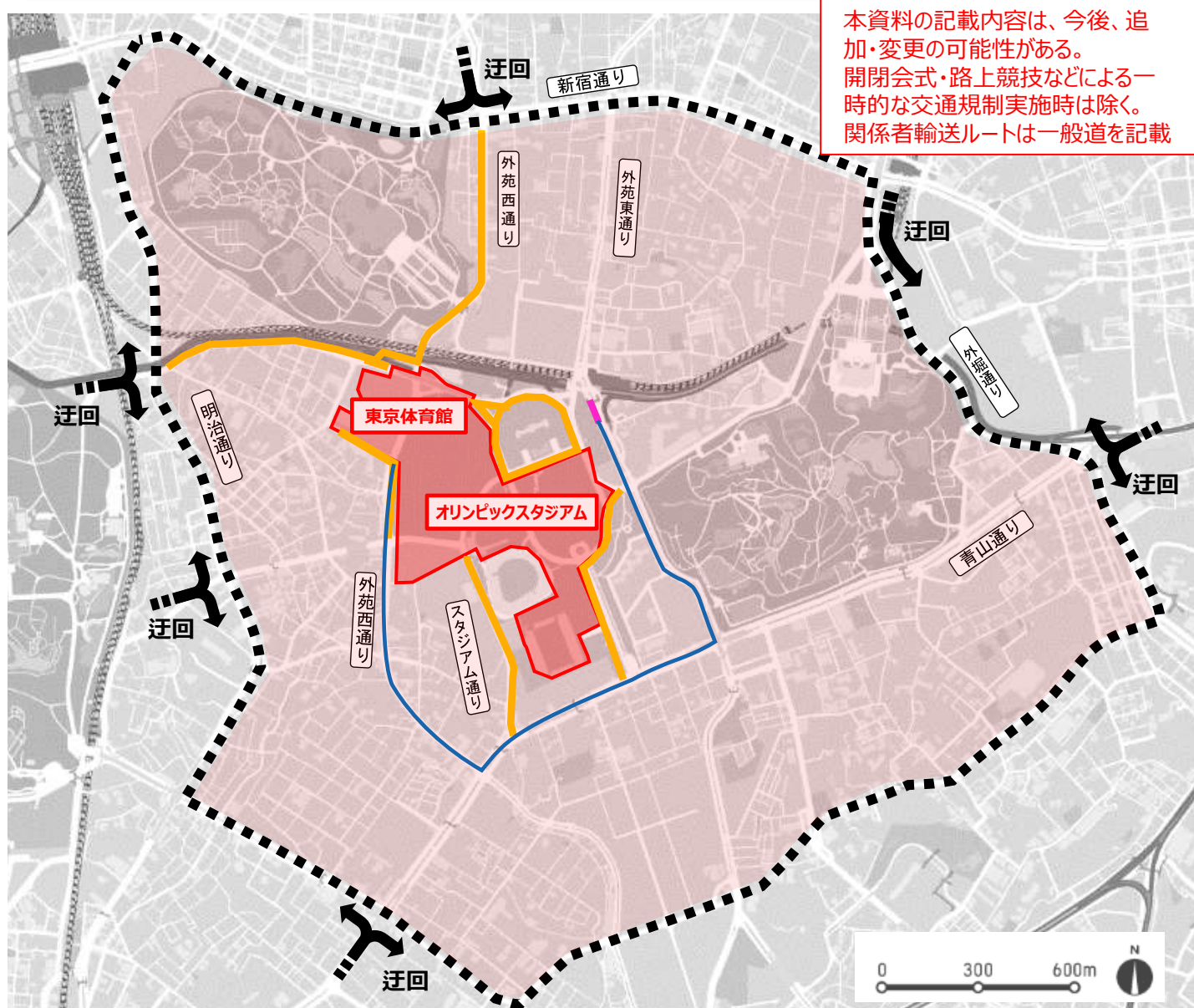


路上工事を控えて頂きたい路線・エリア (以下の道路の車道 (上り・下り)・歩道)

- 関係者輸送ルート
 - 関係者輸送ルート (専用レーン)
 - 関係者輸送ルート (優先レーン)
 - 進入禁止エリア※
 - 通行規制エリア※
 - ⋯ 迂回道路
 - 迂回道路内
 - 観客輸送ルート (各会場の図面を参照)
- ※規制期間、内容、
時間によって、工事
ができない路線もあり
ます。

(1) オリンピックスタジアム・東京体育館 ～路上工事を控えていただきたい路線・エリア～

※2019年10月公表の「会場周辺交通対策（2019.10）」を基に、路上工事を抑制して頂きたいエリアを明示しています。



本資料の記載内容は、今後、追加・変更の可能性がある。
開閉会式・路上競技などによる一時的な交通規制実施時は除く。
関係者輸送ルートは一般道を記載

路上工事を控えて頂きたい路線・エリア (以下の道路の車道（上り・下り）・歩道)

- 関係者輸送ルート
- 関係者輸送ルート（専用レーン）
- 進入禁止エリア※
- 通行規制エリア※
- 迂回道路
- 迂回道路内

観客輸送ルート（次ページ以降参照）

※ 進入禁止エリア、通行規制エリアの規制期間・内容・時間は次ページ参照
規制期間、内容、時間によって、工事ができない路線もあります。

※ 通行規制エリア及び迂回エリアについては、一部の区間を除き居住者に加え業務や施設利用等その他所用のある車両などは原則、通行可

※ この図面に記載の路線のほか、別途、通行規制や迂回路が設定される場合があります。

※ 夜間に記載している時間は、2019年10月1日時点の競技スケジュールに基づき、競技に影響のない時間帯を示したものであり、今後変更となる可能性があります。

なお、工事実施の際は、別途、地先条件等を勘案し、沿道の方々との調整なども配慮する必要があります。

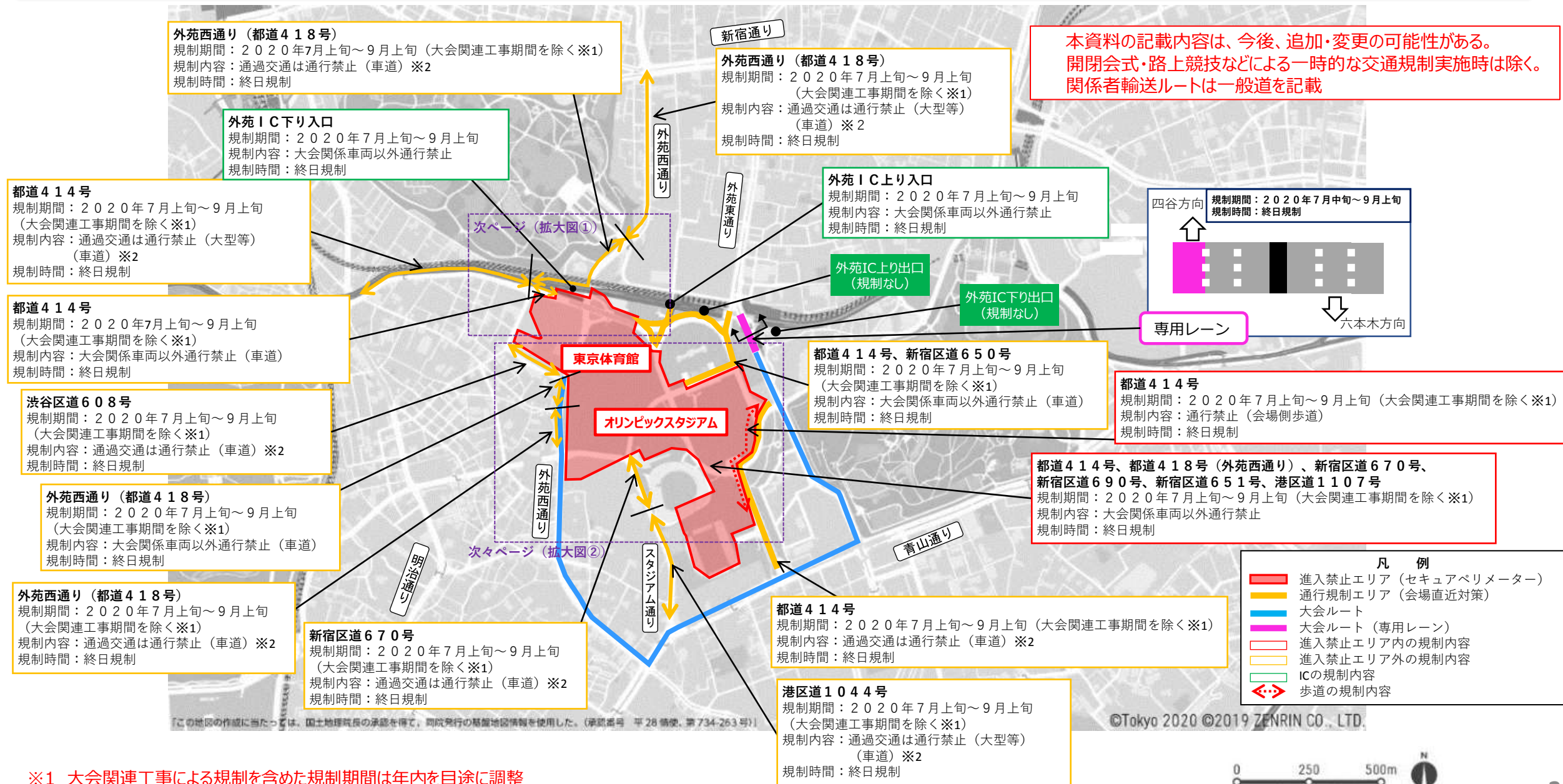
オリンピック

日にち	昼間	夜間
※競技に影響のない時間帯を示したもの		
7/20(月)	路上工事を控えて頂くよう、ご協力をお願いします。	(競技による施工時間の調整は必要ありません)
7/21(火)		
7/22(水)		
7/23(木)		
7/24(金)		※開会式対応のため 工事はお控えください 24:30～翌6:00
7/25(土)		24:00～翌6:00
7/26(日)		24:10～翌6:00
7/27(月)		24:30～翌6:00
7/28(火)		24:00～翌6:00
7/29(水)		24:10～翌6:00
7/30(木)		24:10～翌6:00
7/31(金)		24:10～翌6:00
8/1(土)		23:55～翌3:00
8/2(日)		24:30～翌6:00
8/3(月)		24:30～翌6:00
8/4(火)		24:30～翌6:00
8/5(水)		24:30～翌6:00
8/6(木)		24:40～翌6:00
8/7(金)		24:40～翌6:00
8/8(土)		24:20～翌3:00
8/9(日)		※閉会式対応のため 工事はお控えください
8/10(月)		(競技による施工時間の調整は必要ありません)

パラリンピック

日にち	昼間	夜間
※競技に影響のない時間帯を示したもの		
8/25(火)	路上工事を控えて頂くよう、ご協力をお願いします。	※開会式対応のため 工事はお控えください 24:00～翌6:00
8/26(水)		24:00～翌6:00
8/27(木)		24:00～翌6:00
8/28(金)		24:00～翌6:00
8/29(土)		24:00～翌6:00
8/30(日)		24:00～翌6:00
8/31(月)		24:00～翌6:00
9/1(火)		24:00～翌6:00
9/2(水)		24:00～翌6:00
9/3(木)		24:00～翌6:00
9/4(金)		24:00～翌6:00
9/5(土)		24:00～翌3:30
9/6(日)		※閉会式対応のため 工事はお控えください

(1) オリンピックスタジアム・東京体育館 ～規制内容の詳細～



(1) オリンピックスタジアム・東京体育館 ～規制内容の詳細～

【拡大図①】

本資料の記載内容は、今後、追加・変更の可能性がある。
開閉会式・路上競技などによる一時的な交通規制実施時は除く。
関係者輸送ルートは一般道を記載

都道414号

規制期間：2020年7月上旬～9月上旬（大会関連工事期間を除く※1）
規制内容：通過交通は通行禁止（大型等）（車道）※2
規制時間：終日規制

外苑西通り（都道418号）

規制期間：2020年7月上旬～9月上旬（大会関連工事期間を除く※1）
規制内容：通過交通は通行禁止（車道）※2
規制時間：終日規制

外苑IC下り入口

規制期間：2020年7月上旬～9月上旬
規制内容：大会関係車両以外通行禁止
規制時間：終日規制

外苑西通り（都道418号）

規制期間：2020年7月上旬～9月上旬
（大会関連工事期間を除く※1）
規制内容：通過交通は通行禁止（大型等）（車道）※2
規制時間：終日規制

外苑IC上り入口

規制期間：2020年7月上旬～9月上旬
規制内容：大会関係車両以外通行禁止
規制時間：終日規制

都道414号、新宿区道650号

規制期間：2020年7月上旬～9月上旬
（大会関連工事期間を除く※1）
規制内容：大会関係車両以外通行禁止（車道）
規制時間：終日規制

都道414号

規制期間：2020年7月上旬～9月上旬（大会関連工事期間を除く※1）
規制内容：大会関係車両以外通行禁止（車道）
規制時間：終日規制

凡 例

- 進入禁止エリア（セキュアペリメーター）
- 通行規制エリア（会場直近対策）
- 進入禁止エリア外の規制内容
- ICの規制内容

東京体育館

オリンピックスタジアム

規制区間は四谷四丁目交差点まで

規制区間は北参道交差点まで

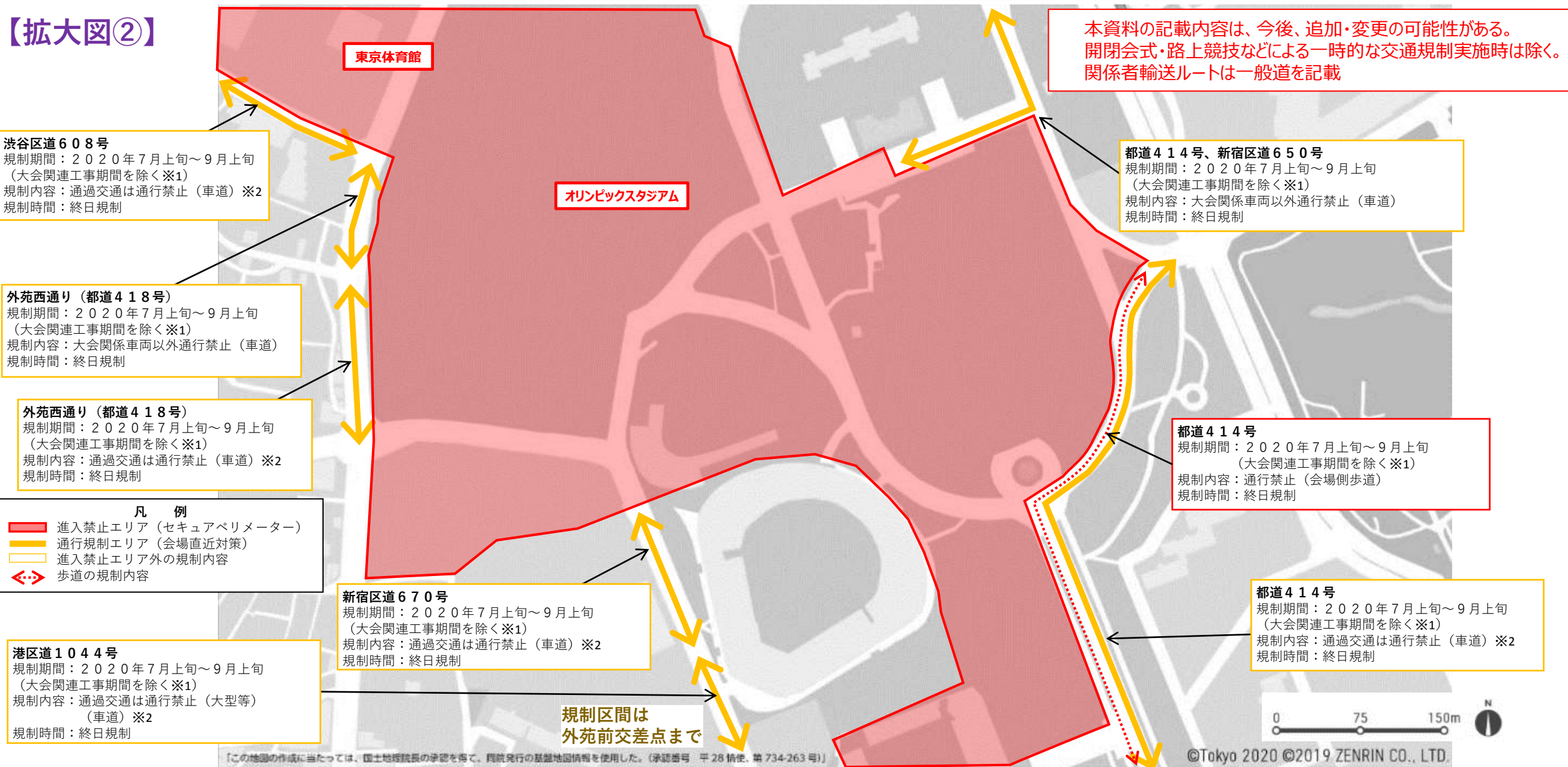
「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。（承認番号 平 28 情使 第 234-263 号）」

©Tokyo 2020 ©2019 ZENRIN CO., LTD.

※1 大会関連工事による規制を含めた規制期間は年内を目途に調整 ※2 通行規制エリアについては、一部の区間を除き居住者に加え業務や施設利用等その他所用のある車両などは原則、通行可。

(1) オリンピックスタジアム・東京体育館 ～規制内容の詳細～

【拡大図②】



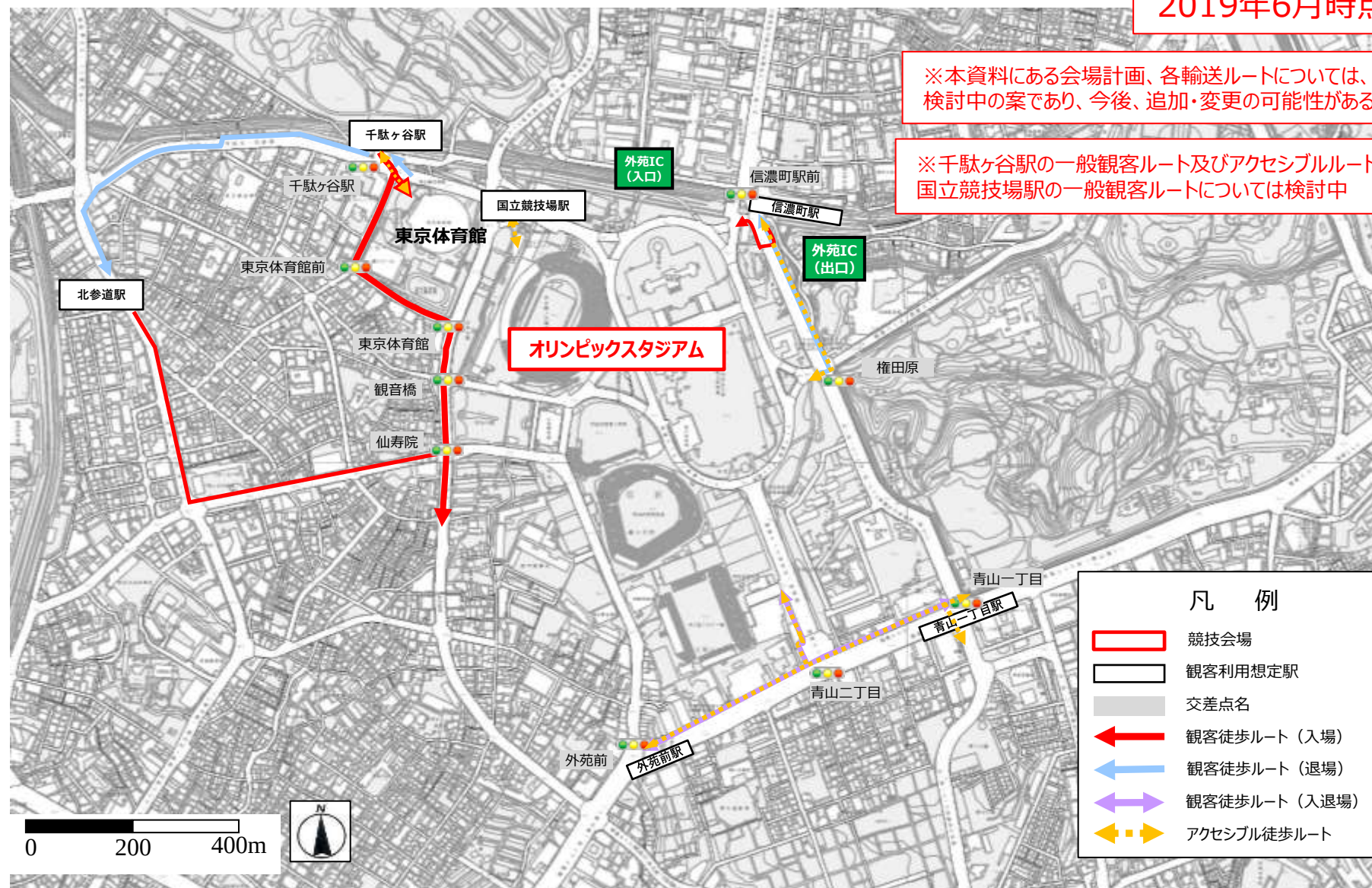
※2 通行規制エリアについては、一部の区間を除き居住者に加え業務や施設利用等他所所用のある車両などは原則、通行可。

（１）オリンピックスタジアム・東京体育館 ～観客輸送ルート（オリンピックスタジアム）～

2019年6月時点

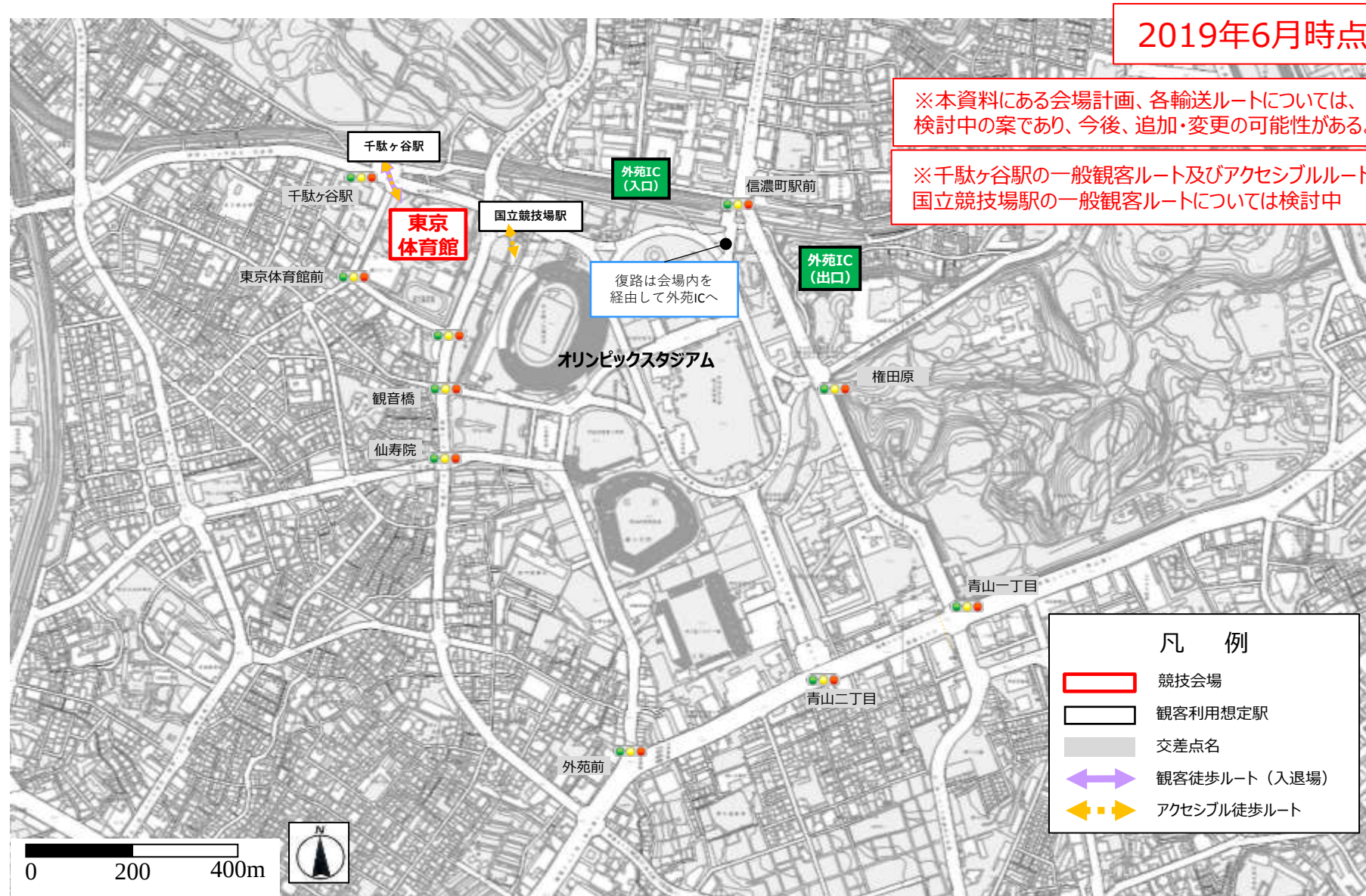
※本資料にある会場計画、各輸送ルートについては、検討中の案であり、今後、追加・変更の可能性がある。

※千駄ヶ谷駅の一般観客ルート及びアクセシブルルート、
国立競技場駅の一般観客ルートについては検討中



(注) この地図は、国土地理院長の承認（平24関公第269号）を得て作成した東京都地形図（S=1:2,500）を使用（30都市基交第1020号）して作成したものである。無断複製禁ずる。

(1) オリンピックスタジアム・東京体育館 ～観客輸送ルート（東京体育館）～



(注) この地図は、国土地理院長の承認（平24関公第269号）を得て作成した東京都地形図（S=1:2,500）を使用（30都市基交第1020号）して作成したものである。無断複製禁ずる。

(2) カヌー・スラロームセンター ～路上工事を控えていただきたい路線・エリア～

※2019年10月公表の「会場周辺交通対策（2019.10）」を基に、路上工事を抑制して頂きたいエリアを明示しています。

本資料の記載内容は、今後、追加・変更の可能性がある。
路上競技などによる一時的な交通規制実施時は除く。
関係者輸送ルートは一般道を記載

路上工事を控えて頂きたい路線・エリア (以下の道路の車道(上り・下り)・歩道)

- 関係者輸送ルート
- 進入禁止エリア
- 迂回道路
- 迂回道路内
- 観客輸送ルート(次ページ以降参照)

※迂回エリアについては、一部の区間を除き居住者に加え業務や施設利用等その他所用のある車両などは原則、通行可。

※この図面に記載の路線のほか、別途、通行規制や迂回路が設定される場合があります。

※夜間に記載している時間は、2019年10月1日時点の競技スケジュールに基づき、競技に影響のない時間帯を示したものであり、今後変更となる可能性があります。

なお、工事実施の際は、別途、地先条件等を勘案し、沿道の方々との調整なども配慮する必要があります。

オリンピック

日にち	昼間	夜間 ※競技に影響のない時間帯を示したもの
7/20(月)	路上工事を控えて頂くよう、ご協力をお願いします。	(競技による施工時間の調整は必要ありません)
7/21(火)		
7/22(水)		
7/23(木)		
7/24(金)		
7/25(土)		路上工事を実施する際は、競技日程・時間によって施工時間を調整していただくようご協力をお願いします。
7/26(日)		
7/27(月)		
7/28(火)		
7/29(水)		
7/30(木)		
7/31(金)		
8/1(土)	路上工事を控えて頂くよう、ご協力をお願いします。	(競技による施工時間の調整は必要ありません)
8/2(日)		
8/3(月)		
8/4(火)		
8/5(水)		
8/6(木)		
8/7(金)		
8/8(土)		
8/9(日)		
8/10(月)		

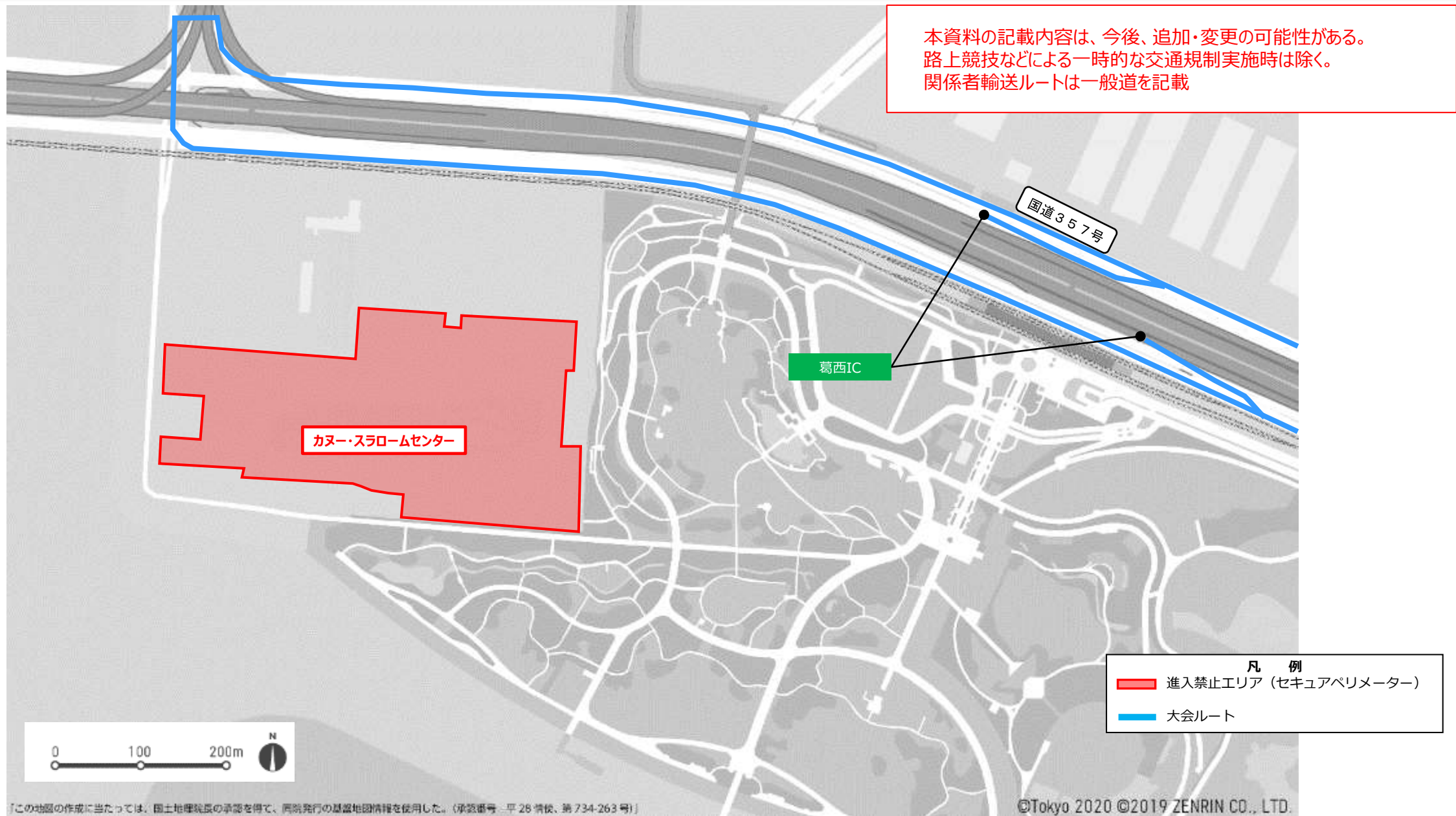
パラリンピック

日にち	昼間	夜間 ※競技に影響のない時間帯を示したもの
8/25(火)	路上工事を控えて頂くよう、ご協力をお願いします。	(競技による施工時間の調整は必要ありません)
8/26(水)		
8/27(木)		
8/28(金)		
8/29(土)		
8/30(日)		
8/31(月)		
9/1(火)		
9/2(水)		
9/3(木)		
9/4(金)		
9/5(土)		
9/6(日)		



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報(S=1:5,000)を使用した。(承認番号 平30情使、第807号)

(2) カヌー・スラロームセンター ～規制内容の詳細～



(2) カヌー・スラロームセンター ～観客輸送ルート～

2019年6月時点

※本資料にある会場計画、各輸送ルートについては、検討中の案であり、今後、追加・変更の可能性がある。

凡 例

-  競技会場
-  観客利用想定駅
-  交差点名
-  観客徒歩ルート（入退場）
-  アクセシブル徒歩ルート

カヌー・スラロームセンター

葛西IC
出口

葛西臨海公園駅

葛西IC
入口

葛西臨海公園前

0 100 200m



(注) この地図は、国土地理院長の承認（平24関公第269号）を得て作成した東京都地形図（S=1:2,500）を使用（30都市基交第1020号）して作成したものである。無断複製禁ず

<2019年4月公表の取組方針>

参考①

		多摩地域 (圏央道外)	多摩地域 (圏央道内)	区部 (会場/ORN 等無し)	区部 (会場/ORN等あり)	大会関係地域 (会場周辺, 観客輸送ルート, 重点16地区 ORN/PRN等)
路上工事	道路工事 (都道等)	E 混雑回避 (19日間)	取組内容 を 変更	環 7 内側・外側に分割	競技会場周辺・関係者輸送ルート (ORN・PRN)・観客輸送ルートと 重点取組地区16地区を分割	
	企業者路上工事 (水道・下水道等)					
	公共工事 (路上工事以外)					
			② 車両数削減 (19日間) A 発注時期調整 C 工事車両出入り振替 D 夜間実施/振替 (E 大会関係地域を通行しない) 等	① 路上工事を避ける (34日間) A 発注時期調整 B 一時休止 D 夜間実施/振替		
					② + B 一時休止	

<取組方針 (2019.10版) >

		多摩地域 (圏央道外)	多摩地域 (圏央道内)	区部 (会場/ORN等が 無い区内)	区部 (会場/ORN等がある 区内) 環 7 外側	区部 (会場/ORN等がある 区内) 環 7 内側	大会関係地域② ・重点取組16地区 (大会関係地域①を除く)	大会関係地域① ・ORN/PRN ・観客輸送ルート ・競技会場周辺 (交通規制道路・迂回道路、迂回道路内)
路上工事	道路工事 (都道等)	E 混雑回避 (25日間)			①日中の路上工事を避け、車両数を削減 (35日間) A 発注時期調整 D 夜間振替 + C 工事車両 出入り振替 E 混雑回避			A 発注時期調整 B 一時休止 D 夜間振替 D 夜間振替※
	企業者路上工事 (水道・下水道等)							
	公共工事 (路上工事以外の 施設工事等)				②車両数を削減 (25日間) A 発注時期調整 C 工事車両出入り振替 D 夜間振替 E 混雑回避 (高速道路・大会関係地域を通行しない等)			② + B 一時休止 D 夜間振替※

※競技日程・時間によって、夜間施工時間を調整